

# 理事動向

- 4/24 (金) 第1回作業療法士協会理事会→井元会長
- 4/27 (月) 大分県地域リハビリテーション研究会→茅野理事
- 5/13 (水) 第1回在宅医療・介護連携会議作業部会→小城理事
- 5/15 (金) 大分県地域リハビリテーション研究会役員会 (井野辺病院) →井元会長参加
- 5/20 (水) 保健医療団体協議会理事会 (新別府HP) →井元会長
- 5/29 (金) 全国会長会 (京都) →井元会長
- 5/30 (土) 都道府県協会研修担当者会議 (京都) →松尾副会長
- 6/ 2 (火) 大分県庁医療政策課訪問 (財政支援制度の進行状況確認) →井元会長、川野事務局長
- 6/29 (金) 地域リハビリテーション研究会運営会議 →茅野理事
- 7/2 (木) 三団体出前講座 (in杵築高校) →今尾理事
- 7/3 (金) 三団体出前講座 (in南大分中学校) →川野事務局長
- 7/23 (木) 平成27年度第1回大分市在宅医療・介護連携会議 →井元会長



## 新入会員紹介

## NEW FACE (8/1現在の会員数260名)

- ・石田和成 (桂林病院)
- ・後藤ちづる、吉田薫乃 (臼杵市医師会立コスモス病院)
- ・小野裕子 (自宅会員)
- ・佐藤弘樹 (在宅介護支援センターきつきの里)
- ・平原裕己 (さとう第一病院)
- ・櫻木ひかる (聖陵病院)
- ・房前有里 (坂ノ市包括支援センター)
- ・石井真奈美 (佐賀関病院)
- ・間部紀子 (大分循環器病院)
- ・椎原優子 (大分医療センター)
- ・中村海斗、栗林亜希子、大久保晴佳、首藤智香 (三愛メディカルセンター)
- ・吉岡安純、有田愛 (大学医学部附属病院地域医療連携センター)
- ・葛城優也 (大分健生病院)
- ・大宅由美 (清川診療所きよかわ介護サポートセンター三つ葉)
- ・森野早央理 (黒木記念病院)
- ・三木香帆里 (みえ病院)
- ・木藤拓弥 (大分県立病院)
- ・大牟禮星児 (オアシス第一病院)
- ・平下俊、高橋早紀 (老人保健施設泉の里)
- ・溝邊尚子 (別府医療センター)
- ・井上香理 (上人病院)
- ・久保田ひとみ (畑病院)
- ・増岡ふみよ (あおぞら病院)

## リレー・フォー・ライフジャパン大分2015

当協会は今年もチーム「士(サムライ)」として参加します。



2015年10月10日 (土) 開会式10:30 開催地: 大分スポーツ公園大芝生広場  
 2015年10月11日 (日) ゴール11:00 住 所: 大分県大分市横尾1351番地

# かはら版 vol.46

## 祝

## 一般社団法人化

(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 井元哲也

朝夕は少し過ぎ過ぎしやすくなってきた今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

当協会は今年度4月1日に一般社団法人として新たな一歩を踏み出しました。それを記念して、7月18日に、記念式典を開催致しました。大分県医療政策課高窪課長様を始め、九州各県の医療ソーシャルワーカー協会会長様、大分県保健医療団体協議会会長様、他関係団体代表者様などのご来賓の方々及び会員の皆様方、多数のご参加を頂き、盛況の内に無事終了することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

めながら、事業推進に邁進する所存です。会員皆様の更なるご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

さて、先日の大分合同新聞にも、関連する記事が掲載されましたが、医療計画の一部となる地域医療構想に関する議論を行う場として、「医療計画策定協議会」が発足、去る8月7日に第1回目の会議が開催されました。今年度、大分県医療政策課からの依頼を受け、本協議会の委員として出席しております。病床機能毎の数のみではなく、各圏域の実情や受け皿となる在宅医療及び介護サービス等の提供体制も考慮される必要がある事を改めて実感する場でありましたし、現場で起きている事を協議会の場でお伝えすることが役割と認識しておりますので、これから行われる全国的な検討の方向性や各圏域での協議

内容を注視していきたいと思えます。

今年度は例年より早い6月より当協会主催の初任者研修とSV研修がスタートしております。先日、SV研修の講師を終え、午後からの初任者研修を少しのぞいてみました。今年度はこの数年では最多となる42名の申込みを頂いております。初任者の皆さんが真剣に研修に打ち込む姿を見て、嬉しくもあり頼もしくもありました。我々を取り巻く情勢は決して楽観視できませんが、彼らが専門職としてイキイキと活躍できるような実践の在り方を伝えていく事の大切さを改めて感じました。専門性に支えられた力強さと、目まぐるしい時代の移り変わりに対応できるしなやかさを身に付け、「地域包括ケア」時代を共に歩んでいきましょう。





# 法人化記念行事

7月18日一般社団法人大分県医療ソーシャルワーカー協会設立記念行事を開催致しました。第一部は『近年の社会保障諸制度について』をテーマとして講師の方をお招きし3部構成にて研修を、第二部では会場をホテルキャッスル大分へ移して記念式典を行いました。当日は暑い中早くから研修会へ参加、また式典におきましても関係機関・団体より78名の方にご出席いただき盛会のうちに終えることが出来ました。参加ご協力いただきました方々へ心からお礼申し上げます。協会の「これから」にぜひご期待頂きたいと思っております。

《第1部 研修会》 コンパルホール  
 テーマ 『近年の社会保障諸制度の動向について』

- 1) 「難病の患者に対する医療等に関する法律」  
 講師:熊野 真二郎 氏(大分県福祉保健部 健康対策課 主査)
- 2) 「生活困窮者自立支援法」  
 講師:阿部友輝 氏(大分県地域福祉推進室 地域福祉班 主任)
- 3) 「介護報酬改定・地域包括ケア」  
 講師:高橋勝(社会医療法人関愛会・大分県MSW協会副会長)

《第2部 記念式典》 ホテルキャッスル大分



祝辞を賜りました県福祉保健部医療政策課課長高窪 修様【左】大分県理学療法士協会会長河野 礼治様【右】  
 功労者表彰にて田嶋昭二様と井元会長

# 部門紹介

## 平成27年度部門について

**研** 修部では、会員皆さんの実践力の向上を目的とした経験年数に応じた研修会を定期的開催しています。「ソーシャルワーカーとして成長し続けたい!」「自分の支援に不安や行き詰まりを感じている」などなど、そのような想いを研修を通じて支援出来るよう企画・運営を行っております。会員皆さんの各研修会へのご参加、心よりお待ちしております。



担当理事 玉井、小野

**ネ** ットワーク推進部は会員同士のよりよいネットワーク構築を目指し、地域ごとにソーシャルカフェや懇親会を企画しています。日頃はなかなか聞けない他のMSWの体験談を聞けたり、自分の思いを吐き出せる貴重な機会です。気軽にご参加ください。また10月10日11日には理学療法士協会との共同チーム「チーム士(サムライ)」としてリレーフォーライフにも参加します。短時間でも結構です。一人でも多くの参加をお願いします。



担当理事 小城、伊田、末吉

**災** 害支援部では、災害が起こった場合にMSWがどのように専門性を発揮できるのかを検討するとともに、会員が災害の理解を深めるための活動を展開していきます。また、被災県となった際の行動指針や県内関係機関、他県との協力体制の構築も進めていくことにしています。興味のある方は、是非、ご参加ください。



担当理事 徳丸、今尾

**学** 術部では、会員のやりがいや4年間かけて調査、研究し、その集大成として完成した論文を投稿すべく仕上げに向けてラストスパートをかけています!また、今後の学術部としては、会員の皆さんが積極的に学術研究を行えるように相談助言機能やデータ蓄積機能としての役割を担っていく予定です。学術部の活動にご質問等がありましたら、お気軽にご連絡ください。



担当理事 尾辻

**広** 報部は様々なメディアを通じて会員の皆様に、わかりやすく確実に情報をお届けします。協会からの情報はもちろんですが、会員皆様方からの情報発信も大歓迎です。是非お気軽に活用いただきたいと思っております。詳細は担当理事までお問い合わせください。広報誌に対するご意見・ご感想もあわせてお待ちしております。



担当理事 山本

# 研修報告

今年度も初任者研修会(全6回)・スーパーバイザー(実習指導者)養成研修会(全5回)が、6月から新別府病院を主な会場として開催されています。各研修会それぞれ日程は進んでいますが、中堅者が真剣な眼差しで講義を受けている姿と、初任者が元気いっぱいグループワークやロールプレイに取り組んでいる姿がとても印象的でした!



初任者研修にて「医療福祉分野の動向」の講義を行う高橋勝副会長

❗ スーパーバイザー(実習指導者)養成研修開催要綱で調整中であった「アセスメント」の講義は日程を平成27年10月25日(日)に変更し福岡県協会 会長 大塚 文氏にご講義頂くことが決定しました。

担当理事 玉井進

**新人研修に参加して** 今回初任者研修では、「ソーシャルワークとは何か」ということについて改めて問い直し、ソーシャルワークの価値・倫理の重要性を再認識できました。就職してから様々なMSWの業務を教えてくださいました。しかし、新しいことの連続で手一杯になってしまい、ソーシャルワークの価値や倫理といった「基盤」の部分意識し、支援できていなかったように思います。何故この業務を行うのか、誰のための支援なのか、このような物事の根本・根拠を理解し支援していくことは、MSWとして大切なことだと思います。今回の研修では以上のような気付きを得ることができました。今回学んだことを忘れず、諸先輩方からのご教授を糧に日々努力していきます。



松尾美穂副会長による「面接技術」

佐賀関病院 石井 真奈美

# 三団体合同出前講座

今年度はソーシャルワーカーデーの催しとして三団体(社会福祉士会、精神保健福祉士会、当協会)合同で中学、高校を対象とした出前講座を行いました。

「三団体合同出張出前講座」を行って 事務局 川野社彦  
 7/3、南大分中学校3年生を対象に、三団体出張出前講座に行ってきました。先生との事前打ち合わせでは「中学生が漠然と考えている“福祉”を彼ら彼女らの今後の進路の選択肢として考えられるように明確化してほしい!また、今後の受験に向けて勉強の必要につなげていけるような話を!」とハードルの高いお題を頂きました。「興味のない学生もいるだろうな」と思いきや、ほとんどの学生が姿勢正しくこちらに眼差しを向けてきて、緊張してしまいました。生徒の反応は後日、先生のメールにて確認させていただきましたが、最低限の役割はできたかなと少し安心しました。



佐伯鶴城高校で医療ソーシャルワーカーについて講義を行う佐伯中央病院 脇坂さん